



デフォルトのポート範囲

このドキュメントでは、次のデフォルトが使用されています。デフォルトのポート範囲は、新機能の開発に伴い（やむを得ない場合は）変更されることがあります。シスコのドキュメントには、特定のバージョン番号の現在のデフォルトポートがリストされています。



Note このドキュメントでは、サードパーティのインフラストラクチャで 사용되는ポート範囲を記載している場合があります。これらはデフォルト値であり、ご使用の環境に対して正しいことを保証するものではありません。サプライヤのマニュアルに従って、これらの接続を設定することをお勧めします。

Table 1: Expressway のデフォルトポート範囲

プロトコル	用途	現在の範囲	詳細
TCP	エフェメラルポート	1024 ~ 65535	アウトバウンド HTTP/S、LDAP
UDP	エフェメラルポート	1024 ~ 65535	DNS、アウトバウンド TURN リクエスト
TCP	エフェメラルポート	30000 ~ 35999	
UDP	エフェメラルポート	30000 ~ 35999	
TCP	アウトバウンド SIP	25000 ~ 29999	
UDP&TCP	小規模/中規模 Expressway-E でのイン バウンドTURN リクエ スト	3478	Expressway-E のみ。 443 または 1024 以上の 任意のポートに設定可 能

プロトコル	用途	現在の範囲	詳細
UDP&TCP	大規模 Expressway-E でのインバウンド TURN リクエスト	3478 ~ 3483	<p>大規模 Expressway-E のみ。最初のポートが 1024 以上の 6 ポート範囲に設定可能。</p> <p>ポート多重化が有効になっている場合は、単一のポートに設定できます。TURN ポート多重化の詳細については、『Cisco Expressway 管理者ガイド』を参照してください。</p>
TCP	Cisco Expressway-E でのインバウンド TCP TURN リクエスト	443	Expressway-E で、TCP 443 TURN サービスが有効になっている場合のみ。
UDP	TURN リレー	24000 ~ 29999	Expressway-E のみ。
UDP	RTP/RTCP メディア	36000 ~ 59999	<p>範囲は、デフォルトの範囲内で設定できます。たとえば、37000 ~ 38200 ですが、35000 ~ 36200 ではありません。</p> <p>S/M Expressway では、デフォルト/カスタムポートを使用しない場合、最初の 2 つのポートを多重化メディアに使用できます。</p> <p>Expressway では、範囲の最初の 12 個のポートが多重化メディアに使用されます。そのサブ範囲をカスタマイズすることはできません。</p>

プロトコル	用途	現在の範囲	詳細
UDP	小規模/中規模 Expressway-E システム 上の多重化メディア	2776/2777 または 36000/36001	<p>2776/2777 は古いペアですが、S/Mシステムオプションで新しいデフォルト範囲が導入されたときにカスタマイズする機能により、デフォルトとして保持されます。カスタムペアは、設定 > トラバースル > ポート で定義されます。</p> <p>Expressway-E のみ。</p> <p>Note 接続マップとポート参照では、わかりやすくするためにすべてのポートオプションを示していません。たとえば、図には2776/2777と表示されているが、代わりに36000/36001を使用することを選択した場合は、2776/2777も開く必要はありません。</p>

プロトコル	用途	現在の範囲	詳細
UDP	大規模 Expressway-E システムの多重化メディア	36000 ~ 36011	<p>大規模システムオプションで導入された新しい範囲。この範囲は、常に RTP/RTCP メディア範囲の最初の 12 ポートであるため、別のメディア範囲を設定した場合は異なります。</p> <p>Expressway-E 大規模 OVA または大規模アプライアンスのみ。</p> <p>Note 接続マップとポート参照では、わかりやすくするためにすべてのポートオプションを示していません。たとえば、図に 2776/2777 と表示されているが、Expressway が大きい場合は、2776/2777 ではなく、メディア範囲の最初の 12 個のポートを開く必要があります。</p>

プロトコル	用途	現在の範囲	詳細
TCP	SIP トラバーサル	7001	設定可能。最初の Expressway-E トラバーサル サーバー ゾーン の SIP リスニングポート。後続のトラバーサル サーバー ゾーン は、増分ポート番号を使用します。デフォルトでは 7002 です。
UDP	H.323 トラバーサル	6001	設定可能。最初の Expressway-E トラバーサル サーバー ゾーン の H.323 リスニングポート。後続のトラバーサル サーバー ゾーンは、増分ポート番号を使用します。デフォルトでは 6002 です。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。